

読者プレゼント

抽選で5名様に

詳細はP8をチェック



2 特集

個性的な商品で勝負！

オリジナル

自動販売機ビジネス

有限会社板馬養殖センター

有限会社神谷産業

株式会社クレスト

7

表紙の人インタビュー

舞台役者

仲田 幸子さん

役者・歌手

仲田 まさえさん



CONTENTS

4

新商品・開発秘話 ヒラメキの瞬間

「沖縄フロマージュ」ポティロン株式会社
「RE.BORN note」株式会社近代美術

5

起業家の魂

株式会社丸高(タイヤランド沖縄) 代表取締役 高里 健作 さん

6

ネットワーク会員 プレスリリース

ゑんぴつ堂/株式会社リッチグリーン
方舟/株式会社沖縄美健販売

8

ネットワーク会員広場 NTカンパニー株式会社

海外レポート from韓国



ベンチャースタジオ案内

〒901-0152 沖縄県那覇市小禄1831-1
沖縄産業支援センター4階401
TEL 098-859-6237 <https://www.okinawa-ric.jp/>
発行：(公財)沖縄県産業振興公社

日本総法律会計ネットワークグループ

連携

■ 弁護士 ■ 司法書士 ■ 公認会計士 ■ 税理士
■ 社会保険労務士 ■ ファイナンシャルプランナー
企業リノベーション、経営革新、経営改善、企業再生、事業承継、事業投資
営業権売却、海外進出、公的支援制度(補助金、助成金)等



株式会社 未来創造研究所
Future Creation Institute Co., Ltd.

お問合せ先 那覇市小禄1831番地1 沖縄産業支援センター4階
☎ 098-996-2235 営業時間 9:00~18:00(土・日・祝日休み)



みらい
ぽいん

令和
4年度

契約企業・入園児募集中

みらい保育園
施設のご案内

じゅっちゃん園・おおひら園・つかざん園・プラザハウス園



連携契約から
入園の流れ

企業様から
提携のお申込み

連携契約締結
(登録料1万円/年)

従業員への
周知

保護者から
入園のお申込み

お問合せ先 ☎ (098) 996-2235 受付営業時間 9:00~18:00(土・日・祝日休み)

その課題、
解決致します。

面倒な書類整理 から 車の清掃 まで！



月額
料金
金

① 領収書整理 代行サービス(月額制)
② 名刺整理 代行サービス(Excelデータ化)
100枚あたり3,300円(詳しくはお問い合わせ下さい！)
回収配達サービス1kmあたり50円(1km圏内は無料)

③ データ入力作業
④ 軽作業
⑤ 清掃作業



施設(デイサービス、ホテル、民泊等)車両、敷地などご相談下さい！



就労継続支援B型事業所
スーパーチャレンジセンターミライ

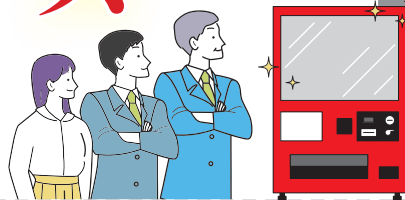
スーパーチャレンジセンターミライ
いしかわ 今年春 OPEN!!

沖縄市 ☎:098-987-8157 与那原町 ☎:098-988-1303 受付時間 平日9:00~17:00

個性的な商品で勝負！

オリジナル

自動販売機ビジネス



2020年末の自動販売機（以下、自販機）及び自動サービス機の普及台数は、前年比97.5%の404万5,800台。2000年の560万台をピークに減少に転じている。（※）特に、全体の約6割近くを占める飲料自販機が設置場所の飽和状態などの理由から減り続けているのだ。一方、ここ数年で目立つのが、これまでにない商材を扱うオリジナル自販機。お花、高級時計、ケーキ、昆虫、紙おむつ、スキンケア用品などの自販機が、全国各地に登場している。個性的な商材という話題性だけでなく、コロナ禍で非対面や非接触を求める買い手のニーズと、低コストで参入しやすいという売り手のニーズにマッチし、期待値は高い。人件費や店舗代削減以外にも食品ロス問題や認知度向上など、さまざまな課題に対応できるアイテムと言える。オリジナル自販機を運営している3社に、その目的や今後の展開を伺った。

※参考資料：一般社団法人日本自動販売システム機械工業会「2020年版 普及台数」

若手役員のアイデアとセンスが詰まった

冷凍車えびの自動販売機

有限会社 板馬養殖センター

自社商品の販売戦略 課題をバネに売上倍増！

車えびの養殖から卸売り、小売りを行う（有）板馬養殖センターが運営しているのは、冷凍自販機。自社商品の冷凍車えびを主軸に、日替わりのいまいゆ（鮮魚）や持ち帰り用の保冷バッグと保冷剤のほか、アイスクリームも販売している。現在は、2021年7月に運営を開始した自社敷地内の1台が稼働中だが、1日平均5万円前後を売り上げ、昨年の冷凍車えびの年間売り上げを4か月強で達成したという。

自販機導入を担当したのは同社取締役



甘みが深くきれいな胎色の特徴の板馬養殖センターの車えび。高級ホテルや料亭、寿司屋との取引も豊富だという。自販機では冷凍車エビがSサイズ（15〜18尾入り）900円から購入可能

の新垣奈菜さん。さまざまな課題に取り組むなかでの発案だった。「弊社の主力商品である活車えび（生きている車えび）は、11〜4月頃までの期間限定商品で、5〜10月のオフシーズンは冷凍車えびを販売しています。しかし、冷凍車えびはあまり周知されていないため、売り上げを伸ばすことが課題

タッチパネルで電子マネーも使用できる最新型を導入



「映え」と「バズり」を考えて、外壁も青と黄色に塗り替えたという



デザインは未経験ながらも、持ち前のガッツで自販機を完成させた、取締役の新垣奈菜さん

有限会社 板馬養殖センター
南城市知念字知名1198
☎ 098-947-0605
https://itanma.jp/



でした。そんななか、お客様との密や接触を回避するコロナ対策も必要となり、同時に解決できる策として、自販機での販売を提案しました。新垣さんは27歳という若さながら、補助金を利用して資金を調達し、自販機メーカーと交渉を進め、外装デザインまでの全てを手掛けた。

若い世代とSNSを意識した バズ狙いの派手デザイン

ターゲットは20〜30代。SNSで「バズる」ことにこだわった新垣さんには、もうひとつ解決したい課題があった。「沖縄県は養殖車えびの生産量日本一ですが、県内の消費量は全国最下位という現状です。高級品のイメージが強く若い人にはハードルが高いのではないかと思います。若い世代でも購入しやすいよう1000円以下の商品も設定しました。冷凍でも味は劣りませんので、気軽に試し、美味しかったら贈り物や特別

な日に活車えびを選択していただきたいです」と、まずは若い世代に手に取ってもらうため、話題になることを重視した。「外装は写真映えスポットにもなるようなカラフルでキャッチーなデザインに」と明確なイメージがあったので、自ら描いた。狙い通り、SNSやメディアにたくさん取り上げられ、若い世代や地元南城市の客層が格段に増えたという。また、自販機をきっかけに活車えびの新規顧客も獲得でき、大きな相乗効果をもたらしている。

しかし、自販機はあくまでも広告塔。認知度が広がっている今、リピートに繋げる次なる策が重要だと考えている。すでに新商品の開発に取り組み、年内には完成する予定だ。自販機をステップとした今後の展開にも注目したい。

ジューシーさに感動！ 蜜があふれる熟成焼き芋 福祉や農業にも貢献

有限会社 神谷産業

障害者の就労支援に感銘 美味しさに売れる確信！

（有）神谷産業は2020年1月に自販機ビジネスに参入した。商材は熟成焼き芋。宮崎県の（株）農福産業から真空パックの熟成焼き芋を仕入れ、リース契約で設置した自販機で販売するというスタイルだ。南城市にある神谷産業玉城支店と、那覇市大道の安里バイパス給油所に1台ずつ設置し自社で運営しているほか、熟成焼き芋自販機の営業代理店として、導入と設置、運営のサポートもしている。商品は1袋190gで500円、温かいものと冷たいものの2種類から選択できる。糖度が高いので冷たくてもスイーツ感覚で食べられるのが特徴だ。

同社代表取締役の神谷善高さんが熟成焼



熟成焼き芋は缶に入って出てくる。中身を取り出し、缶は回収ボックスに返却する仕組み

自販機オーナーも募集中。採算が取れる場所か確認したい場合は、3週間のお試し設置も可能なので安心

き芋自販機の運営を決めたのは、2つのことに惚れ込んだから。商品を企画している（株）農福産業は、イモの栽培から加工までを障害者就労支援事業所に依頼し、障害者の雇用を促進している。この仕組みに賛同したのが一番の理由。もうひとつは、何と言っても熟成焼き芋の美味しさだ。たっぷりの蜜が溢れるジューシーで甘い焼き芋に驚いたという。「社会貢献事業も収益が上がるらないことには持続できないからね。このうまさは売れる！と思った」と、神谷さん。低温貯蔵で蜜を蓄積し特許取得製法で製造している熟成焼き芋は、口コミで広がりにピーターも多く、玉城支店の1台でひと月に約20万円を売り上げるほど売れ行きは好調だ。

アグリ事業を拡大し 県産芋で県内加工を目指す

同社の事業は、建築土木事業、運送事業、アグリ事業の3本柱だが、創業時より沖縄の農業発展に貢献する事を最大の目的



とし、各事業を展開してきた。建築土木事業、運送事業が安定してきたなか、今年はアグリ事業の拡大に本腰を入れる。現在、葉野菜を生産している植物工場では、障害者を雇用し自立を支援している。年内に工場を増やし、植物工場の建設と栽培ノウハウをフランチャイズ化する予定だ。熟成焼き芋もアグリ事業の一環であり、いずれは県内に製造加工所を設け、県産芋を使用し、県内の障害者雇用を拡大したいと考えている。

「熟成焼き芋は市場には出回らない小ぶりの芋を使用するので食品ロス削減にもつながり、農業と福祉に貢献できるビジネス。県内に製造加工所を作るには、自販機の設置台数を増やさないとね。目安となる目標は50台」と神谷さん。しっかりと収益を上げながら、さまざまな社会貢献や課題解決を可能にする熟成焼き芋自販機。自販機はリースで利用できるのが、初期費用は設置費のみ。低コストでストックビジネスに参入し、社会貢献もできるのが魅力だ。



有限会社 神谷産業
南城市玉城字仲村渠1258-1(玉城支店)
☎ 098-949-7700 <https://okinawa-kamiya.jp/>

「いずれは県産芋を使って、新しい沖縄のご当地スイーツとして観光施設にも設置したい」と代表取締役の神谷善高さん



蜜たっぷりの新感覚焼き芋。噂を聞きつけて遠方からわざわざ購入に来る人も多いそう。ぜひ一度は食べてほしい！



街角から聞こえてくる しまくとうばや琉歌 沖縄の文化をお土産に

株式会社 クレスト

文化の資源化という 斬新な発想で普及・継承

しまくとうば(琉球諸語)を身近に感じてもらうため、しまくとうばを話す自販機を運営している(株)クレスト。医療機関や介護施設のIT業務が本業の会社だが、ラジオ放送や自販機を利用し、しまくとうばの普及活動も事業のひとつとしている。現在、体験王国むら咲むらや座喜味城跡、がんじゅう駅・南城などの観光地を中心に40台以上を設置し運営している。販売しているのは、琉歌が書かれたTシャツや帽子、ストラップ、ミニ掛け軸など。価格は500〜800円。自販機に表示されている3次元コードを読み込むと、琉歌を詠み上げる音声の流れ、発音やリズムも楽しめるという仕組みだ。名護親方が詠んだ心の在り方や歴代の琉球国王が詠んだ処世訓など、琉歌のテーマ別に5種類の自販機を展開している。普及活動のツールとして自販機を選んだ理由は「街角のふれあいです」と代表取締役の池原稔さん。「言葉は日常的なふれあいの中でしか普及しないと考えました。私の幼少期には道端にお年寄りが出て、いつも声をかけてもらっていた。そのイメージがしまくとうばを話す自販機になりました」。

池原稔さんはしまくとうば連絡協議会の会長も務め、長年に渡ってしまくとうばの継承・復興に尽力している。「観光客にもしまくとうばで沖縄の心や教えを伝えたい。お土産として琉歌を持ち帰り、沖縄の文化を身近に感じてほしい」。標準語の解説が添えられているので、自分の心に合った琉歌が選べるようになっていく。

ITひと筋50年の実績 地域貢献としての活動

50年以上前から、情報システムや情報機器の開発を手掛けている池原さん。昨年は沖縄語表記システム(しまくとうば辞書ツール)も開発した。共通語を入力すれば、沖縄語の漢字かな交じり文に変換され、漢字にはルビが付く。「話者を増やし言葉を消滅させないためには、誰でも自由に使用できるということが大切。そのために作ったシステム。沖縄語を全く知らない人でも、意識なく、沖縄語の書き言葉が発信できるので、多くの人に使ってほしい」と、同社のホームページで無料配布している。

「沖縄の文化はしまくとうばの上に成り立っています。私たちの世代もまた、しまくとうばで成り立っている。親からの教えや大切なことは全てしまくとうばで教わってきました」と、70歳を超える池原さんにとってしまくとうばが消滅してしまうのは、自身の一部が消えるようで心が痛いと言う。言葉や教えを継いでもらうために活用している自販機だから、収益は重視していない。しかし、継続するための経費は売り上げで十分確保できているという。広告宣伝効果も高い自販機は、何かを普及する、啓発する際にも収益を上げながら活用できるよい事例だ。



北谷のおおたばこ駐車場内に設置されている自販機。たくさんの琉歌や先人たちの教えなどのしまくとうばが書かれている



株式会社 クレスト
中頭郡嘉手納町字嘉手納56-1
☎ 098-957-1119
<https://www.crest-ryukyu.co.jp/>



「沖縄の平和な心や美しい心の教えをお土産にしたい」と代表取締役の池原稔さん。しまくとうばの普及活動をライフワークとしている

Tシャツと帽子は各800円。観光客や外国人にも喜ばれそうなアイテム



しまくとうばが書かれたミニ掛け軸、ストラップ、キーホルダー、お守りなどが各500円で購入できる。心に染みる言葉を身に付けてほしい



自販機からは常にしまくとうばラジオが流れ、3次元バーコードで番組表が確認できる

企業の変革期を支える「専門力」。

課題を解決するために必要なこと。それは、会社の「専門力」を高めることではないでしょうか。

創業1999年。沖縄で活躍する菓子、健康食品、飲料、酒類など各種加工食品のメーカーや、工場を持たない企画販売企業(ファブレスメーカー)を対象にコンサルティングを行っております。新しいステージへと企業が変革を目指すとき、その舵取りとなる経営判断の精度や組織の機動力、プロジェクトの成功率を高めるためには、これまで以上の「専門力」の補強が必要だと考えられます。開発屋でいきたんは、御社の経営ビジョンや問題意識を共有しながら、ステージアップへの伴走者となって組織の「専門力」を高め、課題解決をサポートします。



代表取締役 照屋隆司
農学修士(農芸化学専攻)
技術経営修士(MOT 専門職)
NR・サプリメントアドバイザー
産業カウンセラー

▶▶▶ 主なコンサルティング分野

一般加工食品・健康食品・発酵食品・その他生物資源利用製品に関する

- 商品開発
- 研究開発
- 産学官連携
- 事業戦略
- 食品表示・広告表示
- 品質管理
- 小規模事業者 HACCP 制度化対応
- 技術コーディネーター養成

▶▶▶ 契約の種類(費用は契約の種類によって異なります)

- 共同開発契約
- コーディネーター契約
- アドバイザー契約
- 離島及び農漁村小規模事業者向け顧問契約
- 単発有料相談
- 無料相談

▶▶▶ 専門家登録

沖縄県産業振興公社、沖縄県商工会連合会、沖縄県商工会議所連合会、他

わかりやすい。学びやすい。
沖縄の食品開発企業を応援するコンサルティングオフィス

(有)開発屋でいきたん

TEL **098-939-9777**

FAX 098-939-9792

H P <https://www.dikitang.jp>

価値を高める出会いへ

でいきたん

検索



新商品・開発秘話

ヒラメキの瞬間

新商品誕生のヒラメキの瞬間。
それはいつ、どのようにやってくるのだろうか。
発想法や商品化の経緯を聞き、商品開発の秘訣を学ぶ。



県産素材を詰め込んだ
フローズンチーズケーキ

『沖縄フロマージュ』

ポティロン株式会社

沖縄らしさを感じられる
お土産スイーツとして開発

お菓子の製造、卸販売を行うポティロン（株）が手掛ける「沖縄フロマージュ」は、【令和元年度むらおこし特産品コンテスト 審査員特別賞】、【第30回宜野湾市産



味は左から、島かぼちゃ、ドラゴンフルーツ、シークワサー、パイナップル、パッションフルーツ、マンゴー、アセロラ、紅芋の8種類。土台に使用したちんすこうの塩加減が絶妙



県産の野菜や果物を丁寧に手作業で加工。黒糖と塩も100%県産を使用し、素材と風味に徹底してこだわっている

業まつり商工部門製品コンテスト 宜野湾市商工会長賞】を受賞した実力派のスイーツ。沖縄の自然の恵みをギュッと詰め込んだフローズン（冷凍タイプ）のフルーツチーズケーキに、ケーキボトムにはちんすこうを使用している。味はシークワサーや紅芋、マンゴーなど色とりどりに8種類。見た目も可愛く、お土産や自分へのご褒美にぴったりだ。商品の誕生秘話やこだわりを代表取締役の木谷寿男さんに伺った。

「チーズケーキにはレア・ベイクド・スフレといった代表的なジャンルがありますが、そのどれにも属さないチーズケーキを目指していました。そうした中、かき氷を一年中美味しく食べられる沖縄には冷たいタイプがマッチすると考え、フローズンというジャンルに辿り着きました。また、商品作りの原点は『沖縄らしさ』。信頼できる生産者から素材を仕入れ、素材の味を大切に、極力添加物を使用しない食品加工の開発に、こだわっています」と木谷さん。特に、原材料の仕入先選びは最重要ポイントとしている。離島も含め県内各地の農家を訪問し、生産者や現場環境、味、品質などを直接確認して使用する素材と仕入れ先を選定。信頼できる生産農家と協力体制を構築している。

素材にも味にも自信を持てる商品が完成したが、フローズンスイーツならではの不安が浮上した。「持ち歩く間に傷んでしまうかも」とお客様が購入を躊躇するのではないか、ということ。そこで、安全性を確立させるため発売開始前に9回もの分析試験を実施。さまざまな検査をクリアし、常温8時間以内の持ち歩きを可能にした。フローズンスイーツならではの特徴として、解凍時間を調整してフローズンケーキ、アイスクリーム、ベイクドケーキと異なる食感が楽しめるのも魅力と



生産者選びから製造も行う代表取締役の木谷寿男さん。県外への販路拡大にも積極的

シークワサー、紅芋、マンゴーの3本セットは972円、オンラインでも購入可能。素材まるごとのフレッシュな味、香り、色が楽しめる



ポティロン株式会社
宜野湾市真志喜三丁目19番8号
☎098-898-0500
<https://www.potiron.co.jp/>



して発信している。

県内のお土産ショップや那覇空港内売店などに加え、県外のお土産ショップや通販サイトなどにも販路を拡大している。「今後も、信頼できる生産者さんたちと共に、安全・安心な加工と手間ひま掛けた手作り製法にこだわり『沖縄らしさ』を感じていただけるお土産を作ります」と丁寧な製法にこだわる木谷さん。今後の展開にも期待したい。

「もったいない」から生まれた
印刷端材の再生プロダクト

『RE.BORN note』

株式会社近代美術

質感も色も厚みも異なる紙で
素材感を楽しむサステナブル商品

印刷会社の（株）近代美術が、ユニークなノートを企画販売している。その名も「RE.BORN note（リボーンノート）」RE.BORN（リボーン）は再生、生まれ変わりの意味。商品開発プロジェクトチームが手掛ける商

品だ。プロジェクトメンバーである、本社営業一部の宮良彩花さんとデザイン制作部アートディレクターの森田光則さんが、企画について教えてくれた。「印刷会社として抱える課題に『余り紙』というのがあります。断裁した端材や余剰分など、たくさん余り紙が印刷工場に山積みになっているんです。これを再利用する目的で企画しました」と森田さん。「紙の種類がバラバラなので丁合や製本が難しく、プロジェクトメンバーが工場に行き手作業で行うんですよ」と宮良さんも楽しそうに語る。色も質感も厚みも異なるさまざまな紙を使用し、A5サイズ60ページのノートに仕上げる。ページをめくるたびに色や感触、書き心地も変わる完全オリジナルの1冊だ。取扱店はイーアス沖縄豊崎1階にあるザオキナワショップと、東京築地にある隠れ家ギャラリー型ストアThe Dooties Tsukiji。ここでは実際の商品を1点1点確認して購入できるが、販売のメインはECサイトだという。

「弊社は印刷業務だけでなく企画制作や販売促進企画、広告代理業も行っているので、自社製品を利用し、SNSでの発信やWEB広告の効果を検証し、ノウハウの蓄積に役立てています。そのため、ECでの購入者が多く、そのほとんどが県外の女性です。購入者がSNSに投稿してくださるのでさらに認知が広がっています」と宮良さん。「利用者とダイレクトにコミュニケーションが取れるので、お客様の声から生まれた商品もあり、現在はシリーズとして4種類展開しています」と森田さん。また、県外のサステナビリティ関連のショップやイベント運営会社からの問い合わせも多く、SNS発信に手応えを感じているという。

新発売の日付のないスケジュール帳、2,178円。日付は自分で記入し、いつからでも使い始めることができる。売れ残りによる廃棄処分を出さない工夫だ



ノートは968円、製本されていないペーパータイプ（A5サイズ、ミニサイズ）は748円。ランダムに組み合わせられた個性に愛着が湧く
※価格は全て送料込み

「自社製品の販促で培ったスキルやノウハウをクライアントに還元することもプロジェクトの目的のひとつです。また、オリジナル製品で他社とコラボしたり、イベントを企画してお客様とリアルコミュニケーションを図ったりと、RE.BORNシリーズを軸にたくさんの方に挑戦したいですね」と、二人とも意欲的だ。このプロジェクトは商品開発に留まらず、業務拡大や地域貢献などの可能性も秘めている。



RE.BORNシリーズ以外にも「サステナブルを意識した商品を企画したい」というアートディレクターの森田光則さんと営業一部の宮良彩花さん

株式会社近代美術

南風原町字兼城206 近代美術本社ビル
☎098-889-4113 <https://www.p-kindai.co.jp/>



イチマルマル公式WEBショップ
<https://ichimarumaru.thebase.in/>



新しく事業を興した起業家たちの想いや使命を伺う「起業家の魂」シリーズ。今号は事業承継後に新事業を立ち上げた、2代目社長に注目した。先代から引継ぐ想いを大切に事業拡大に挑戦する「承継者の魂」に迫る。

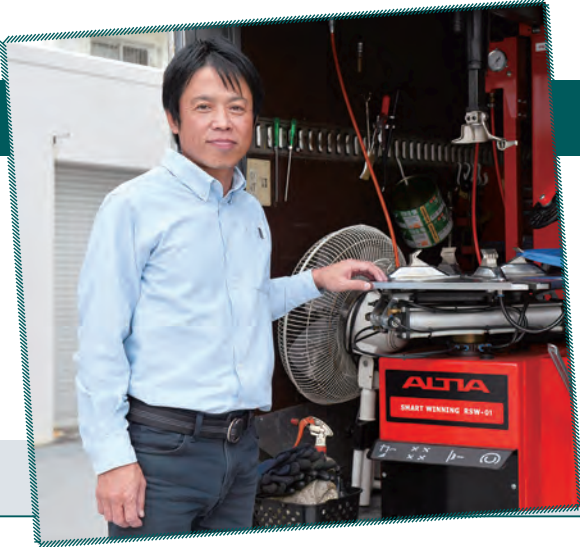
創業者の熱意に迫る

起業家の魂

車社会のニーズに応え 誰もが快適に過ごせるカーライフを 提供したい

株式会社丸高(タイヤランド沖縄) 代表取締役 **高里 健作さん**

1970年宜野湾市生まれ。県外で車の整備や改造の経験を積み、2008年にタイヤランド沖縄を承継して代表取締役役に就任。2010年に福祉事業部を立ち上げ「福祉のコンシェルジュ・サービス」を展開。福祉車両のスロープを開発し、2016年に沖縄県発明協会会長賞を受賞した



コロナ禍の変化にヒントを得た 新サービス「動く工場カードック」

お客様が指定する場所へ自動車整備工場がまるごと出張する「動く工場カードック」。エアークンプレッサーや発電機など、車の修理メンテナンスに必要な機材を積んだトラックで出向き、その場でカー用品の取り付けやタイヤ交換、車両整備、点検、修理、メンテナンスを行う新しいサービスだ。宜野湾市でタイヤランド沖縄を運営している(株)丸高が2021年6月に立ち上げた新規事業。サービス開始以来口コミで評判が広がり、毎日出勤している。例えば、ある企業の全営業車にドライブレコーダーを設置する場合、営業車が駐車場に揃う時間にカードックが出向き、全車両に取り付ける。また、お客様が美容室やジムを利用している間に駐車場でメンテナンスをするなど、車を使用していない駐車時間に作業を行うのだ。

カードックを発案した代表取締役の高里健作さんは、ヒントはコロナ禍によるニューノーマルにあったという。「飲食店が次々と移動販売事業に取り組み様子を見てひらめきました。お客様が不要不急の外出を控え対面接触を避けているなか、コロナ対策にもなる。また、以前から『車を取りに来てほしい』『時間がなくて来店できない』という声もあったので、こちらから出向くスタイルはニーズがあると確信しました」。父の代から車両の整備点検業を営み、事業を承継して15年。お客様のカーライフをより安全で快適、便利にするために尽力してきた高里さんだからこそ、時代の変化にチャンスを見いだせた。

改造技術の評価が高い福祉車両事業 身体が不自由な人の運転をサポート

高里さんは事業承継直後にも新規事業として福祉車両事業を立ち上げ、福祉車両の普及にも努めている。長年培った改造技

術は高く評価されている。「福祉車両には、身体の不自由な人を車に乗せる補助機能を装備した『介護式』と、身体の不自由な人が自分で運転できるように改造した『自操式』の2種類があります。どちらも扱っていますが、自操式においては、個々のお体の事情に合わせて運転装置のレイアウトを自在に調整するオーダーメイドの改造を得意としています」。カーディーラーからの信頼も厚く、高級車や外車を自操式にと、直接の改造依頼を受けることもある。「身体の障害を理由に運転ができないと諦めている人たちに、可能性があることを伝えたい。アクセルやブレーキなどの位置や仕様を変え、ご自身の身体で運転できる車に改造することができます。より多くの人に自由な移動手段を提供したい」と、福祉車両にける想いは強く、今や(株)丸高の根幹事業にまで成長した。

根っからの車好きだから 車を通して社会貢献

昔からバイクや車が大好きで、若い時は走りを重視した改造を楽しんでいた高里さん。「障害があっても好きな車種に乗ってほしいから、どんな車もカッコよく改造することにこだわっています。スポーツカーや高級外車の自操式もお任せください。誰もが気軽に入りの車で安全、快適に過ごせるカーライフをサポートします」

新規事業に取り組む際には、よろず支援拠点や沖縄県産業振興公社などの支援機関に相談し、経営革新計画の承認や助成金などを取得している。「事業を確実に成立させるため、さまざまな制度を利用していきます。普段から支援機関の専門家にサポートしてもらい、挑戦しやすい環境を整えています」と、まだまだ事業拡大に意欲的だ。



国道58号線沿い、タイヤランド沖縄の自動車整備場隣にある福祉事業部ショールーム



自操式に改造したBMW。運転席への移動、車いすの格納まで一人で操作できる



動く工場カードック。1台のトラックに車の修理や整備に必要な機材が一式揃っている。こちらでカー用品を購入すれば、出張費はサービスとなる



「年内にカードックをあと数台増やし、多くのお客様に対応したいですね」と語る代表取締役の高里健作さん

株式会社丸高(タイヤランド沖縄)
宜野湾市大山1-1-15
☎ 098-898-5732
<https://www.tlokinawa.com/>



20年間で約300社以上のOEM実績あり

化粧品・医薬部外品

OEM

沖縄天然素材
25種以上

久米島の
海洋深層水使用



GMP基準に準じた工場設備
クリーンなラインで安全・高品質な製品作り
に取り組んでいます

多品種の製造に対応します
ぜひ、お気軽にお問い合わせ下さい

ヘアケア製品 シャンプー・コンディショナー・ヘアオイル
スキンケア製品 洗顔料・化粧水・美容液・クリーム
医薬部外品 美白美容液・薬用ハンドソープ・薬用育毛剤
エステ・スパ・ホテルアメニティ マッサージオイル・ジェル

OEM一例



美しい自然と独自の文化・歴史に国内のみならず海外からも熱い視線が注がれている沖縄。その沖縄・久米島に本社と工場を置くポイントピュールは、久米島海洋深層水をベースに自然の恵みを最大限に活かした化粧品の企画・研究開発から、マーケティング支援、デザインを含めたトータルプロデュースで、お客様のあらゆるニーズにお応えします。



○化粧品製造業・製造販売業
○医薬部外品製造業・製造販売業

株式会社ポイントピュール
<https://pointpyuru.co.jp>

沖縄県島尻郡久米島町字真謝486-12
tel. 098-896-8701 fax. 098-896-8702

20th
Anniversary



公社ネットワーク会員 プレスリリース

心が豊かになれるようなモノコトを提供したい enpitudoで気持ちを伝えるきっかけを

2021年9月に北谷で移転オープンしたenpitudoでは、ドライフラワーを中心にキャンドルや生花、アクセサリーなど厳選された県内外の作家の作品を販売しています。“気持ちを伝える事はとても大切なコト。贈る人と贈られる人が繋がれるきっかけを作る場所にしたい”、“どんな気持ちにも寄り添えるようにしたい”と、カラーも価格帯も幅広い商品を並べています。

最近ではホテルやショップのディスプレイも手掛け、訪れるお客さまが癒されるような、ワクワク出来るような空間創りを目指しています。

ゑんぴつ堂

☎ 090-1341-4978

<https://www.instagram.com/enpitudo/>



グリーンファッションでかなえます！ 特別な安らぎの空間

「癒しの空間」の演出を得意とし、観葉植物レンタル・造園工事・「プラスガーデン」店舗にて造園工事の打合せ及び観葉植物・鉢の販売を行っています。第三日曜日には植物を再生させた「グリーンレンタアップ販売会」も開催しています。

また、「月桃素材総合有効活用利用」を目指し、月桃の葉だけではなく、茎や種子、花も無駄にしない商品開発や水を一切利用しない、植物が持つ水だけを抽出した“生体水(細胞水)”を化粧品原料に、自然派のお客さまへ植物由来の商品開発も行っています。



株式会社リッチグリーン

☎ 098-944-1035

<http://www.rich-green.co.jp/>



<http://www.plus-garden.okinawa/>



沖縄県産手編みハンモックブランド 「方舟」はじまりました

“ハンモックは地球とコネクトするツール”を愛言葉に、沖縄県産ハンモックブランド「方舟」が誕生しました。私たちは、国内で数少ないハンモック作家のチームであり、方舟の船頭役として、みなさまを自然と繋がる旅へと誘います。

“リビングから森の中へ”をテーマに、チェア、ソファ、ベッドの異なる3タイプを展開中。家具としてのハンモック。いつも寄り添い癒しを与える相棒でいたい。週末にはそんな相棒をバッグに突っ込んで自然の中へトリップしましょう！

サイズ、柄、素材などオンリーワンの方舟をお造り致します。方舟オーナーも募集中。



方舟

☎ 098-898-9428

<https://hammockhakobune.com>



食品加工品から健康食品まで幅広い商品を開発 沖縄の素材を全国へ

我社は沖縄県産の食品素材に特化、素材のこだわりを大切に健康食品や食品加工商品を幅広く取り扱っています。これまで培ったノウハウをもとに、外部ネットワークとの連携で様々な商品開発を進めて参りました。最近のヒット商品はドライフルーツに沖縄県産フレーバー(沖縄海塩・シークワサー・パインアップル等)を使用した、新しいドライフルーツ商品です。2021年より自社で一部の製造も開始しています。

また、沖縄県健康産業協議会WOJ認証商品、WELLNESS OKINAWAウコン粒を新商品として発売し、独自の通信販売事業も開始致しました。これからも県外、国外へと販路を広げていきたいと考えています。



株式会社沖縄美健販売

☎ 098-996-1636

<https://okinawabikenhanbai.co.jp>



(公財)沖縄県産業振興公社ではネットワーク会員を募集しています。特典の一つとして上記プレスリリースの無料掲載があります。情報紙は毎月16,000部、年3回発行で、県内企業や事業者、一般県民など多くの方に読まれています。ぜひ自社PR等にお役立てください。ほか特典メニューもご用意。詳しくは <https://okinawa-ric.jp/info/members/> まで。



堀内都喜子 著
ポプラ新書
税込 946 円

コロナ禍で在宅ワークが増えている中、労働時間の問題は世界各国で法改正が進み、日本でも働き方改革の推進で少しずつ改善されている。そんな中で世界に目を向けると、フィンランドでは1人あたりのGDPが日本の1.25倍、在宅勤務3割、夏休みは1カ月と3年連続で幸福度が世界1位。仕事も休みも大切にすると、2019年にワークライフバランスでも世界1位となった。仕事の効率化と休日の有効活用が注目され、今後日本でも実現可能なのか考えさせられる一冊です。仕事の向き合い方に悩んでいる方にもおすすめです。



アンデシュ・ハンセン 著
久山 葉子 訳
新潮新書
税込 1,078 円

最先端デジタル社会で、さまざまな分野で電子化が進んでいる中、身近にある「スマホ」が活躍している。電子マネーが普及し、買い物するにはスマホで支払い、財布いらず。行き先を探すにもスマホで調べる。そんなスマホに依存している私たちに、教育大国スウェーデンの精神科医が警笛を鳴らしている。スマホに依存すると身体的、精神的に大きな影響を与えると警告を出している。うつ病や睡眠障害のような生活習慣病や、集中力の欠如や学力の低下、幼少期から普段のスマホの使い方を改めて教育し、私たち自身も将来子どもたちのために使い方を直すべききっかけになる書籍です。

フィンランド人はなぜ 午後4時に仕事が終わるのか

幸福度1位フィンランドに学ぶ、日々の暮らしを大切にするためのライフワーク。

スマホ脳

SNSの便利さ故に依存しているスマホ。その使い方、もう一度見直すべきです。

ジュンク堂書店 那覇店
ビジネス書コーナー担当 & フロア長 宮里正範さんが、沖縄のビジネスマンにおすすめする、ビジネスに役立つ本を2冊ご紹介！



ジュンク堂書店 那覇店

〒900-0013
沖縄県那覇市牧志1-19-29
D-NAHA 地下1階～3階

電話番号：
098-860-7175

営業時間：
10:00～21:00

10月無休、11月無休



モノレール美栄橋駅から徒歩約2分

Introducing business books





仲田幸子さん

1932年那覇市出身。15歳で初舞台に立ち、1956年に夫の仲田龍太郎氏とともに劇団を立ち上げた。喜劇芝居の第一人者として活躍し続け、現在は自身の店を舞台に歌とおしゃべりでお客さまを楽しませている。「民謡スナック 仲田幸子の店」那覇市久米2-8-10 バーム久米1F-1A ☎098-868-5228



仲田まさえさん

1972年那覇市出身。幸子さんの次女、明美さんの長女として本土復帰の年に誕生。赤ちゃんの頃から舞台に出ていたが、小学校に上がると同時に活動を休止。20歳から本格的に役者の道を歩みはじめる。現在は役者、歌手として活動中。

仲田 幸子さん

舞台役者

仲田 まさえさん

役者・歌手

芸歴75年の喜劇の女王と

芸歴30年の孫娘！

『生きてるかぎり死なないさあ』

表紙の人
INTERVIEW

今回の「表紙の人」は、仲田幸子さんと孫の仲田まさえさん。ふたりが出演した映画「なんくるないさあ 劇場版」生きてるかぎり死なないさあ」が第16回ロサンゼルス日本映画祭で最優秀喜劇賞「ベストコメディアワード」を受賞し、主演の幸子さんは最優秀主演女優賞に輝いた。幸子さんが立ち上げ63年間座長を務めた「劇団でいご座」は、2019年9月の仲田幸子引退公演を最後に幕を下ろしたが、今年1月には那覇文化芸術劇場なはーとのこけら落とし公演に劇団でいご座で特別出演するなど、精力的に活動が続けている。本土復帰50年と第7回世界のウチナーンチュ大会が開催される節目の年に、沖縄への思いを語ってくれた。



2019年に興行舞台は引退したが、現在もまさえさんと映画やCMなどに出演し、沖縄県民に元気を与え続けている幸子さん。今年90歳を迎えるという。「私は小さく小さく生まれてね。母親は私を産んですぐに亡くなってしまったから、周りはこの子は長く生きられないと思ったのか、誰も生年月日を覚えていない、分からないのよ。だから誕生日は昭和8年10月10日って自分で決めたよ。でもね、数年前に本当は昭和7年生まれだと判明したさあ」と明るく話す幸子さんだが、戦争を経験し、戦後はマラリアにかかり、役者になってからも面癪、うつ病、頸椎損傷などの病に見舞われ、生まれたときから何度も死に直面してきた。しかし、「あらゆる困難も沖縄県民の笑い声にパワーをもらって乗り越えてきたから、人に会えないコロナ禍の今が一番辛いね」という。

現在の主な活動の場は「民謡スナック 仲田幸子の店」だが、過去には沖縄県人移民を訪ねてブラジル、ペルー、アルゼンチン、ボリビア、アメリカ、ハワイを巡業したこともある。「20年くらい前よ。どの国でもみんなが『よく来たねー』と涙を流して迎えてくれて、芝居を観てたくさん笑ってくれた。嬉しかったねー」と、懐かしそうに話す幸子さん。昨年はロサンゼルス日本映画祭の受賞式にまさえさんが参加し、現地の県人会に歓迎してもらったという。「今の世代の沖縄県系人たちは方言が分からないので英語字幕で観たそうですが、『日本の映画がこんなに楽しいとは思わなかった』『シンプルで分かりやすく面白かった』と喜んでいただけて、感激しました」とまさえさん。幸子節は海の向こうでもたくさんの人を笑顔にできた。

「今年の世界のウチナーンチュ大会には、たくさんの人に沖縄に来てほしいね。内地の人も外国の人も、みんな早く沖縄に来たいはずよ。沖縄が一番だの」と幸子さん。まさえさんも「沖縄はずっと癒しの島であってほしいです。青い海、青い空、芸能で人々を楽しませ、心を癒すのが沖縄。私もずっと、沖縄の芸能に携わり歌い続けていきたいと思っています」と、多くの人と触れ合える日を心待ちにしている。

「『生きてるかぎり、死なないさあ』よ。世の中がどう移り変わるのかを楽しみにしながら生きてきたよ。毎日考えるのは平和だね。沖縄も世界も、今よりもっと良くなるのを見届けるまで死ねないさあ」と、幸子さん。最後に「でもね、今年はいい年になりそうよ。そう感じるさあ。いい年になるよう、願っておこうね」と言ってくれた。温もりと優しさに満ちた喜劇の女王は、沖縄の人々に今も笑顔をもたらしている。



2021年公開のハッピーコメディ映画。沖縄最高のエンターテナー、サチコーが引退舞台を終えた直後に急逝し、幽霊となって現れた！サチコーの心残りを晴らし成仏させるために、沖縄全島を巻き込んだ大騒動が繰り広げられる。

監督／野田孝則
出演／仲田幸子、仲田まさえ、他
企画総指揮／村岡克彦
制作／沖縄ピクチャーズ

映画「なんくるないさあ 劇場版」
公式サイト
<http://nankurunaisa.okinawa/>



【必見】デジタルで変わる沖縄企業 「IT導入のヒント」はここから！

ResorTech Okinawa

<https://www.resortech.okinawa>

IT活用によりアップデートされた
県内企業の成功事例が手に入る！
支援情報やイベント情報も要チェックです。

**ResorTech Okinawaサイト
今すぐわかる
IT活用事例をご紹介します!**

イベント情報

×
×

沖縄県酒造組合
会長 **佐久本学**

沖縄県産業振興公社
理事長 **末吉康敏**

版画家
名嘉睦稔

入場無料

- ジュンク堂書店 那覇店 地下1階で行われるトークイベントのお知らせ -

琉球泡盛談議

Discussion on Ryukyu Awamori

2022年5月15日で沖縄本土復帰50周年を迎える。アメリカ世から大和世、コロナ世へと、変わりゆく時代の中で、沖縄が世界に誇る蒸留酒“琉球泡盛”はどのような歴史をたどり、未来へつなげていくのか。沖縄の経済界、酒類業界、芸術界を代表するお三方のざっくばらんな談議から、琉球泡盛の過去と未来を感じ取っていただければと思います。

日時：**2022.3/12(土) 17:00 ~**

- 所要時間：1時間半程度 -

場所：**ジュンク堂書店那覇店地下1階**

〒900-0013 沖縄県那覇市牧志1-19-29 D-NAHA



ネットワーク

会員広場

沖縄県産業振興公社ネットワーク会員企業の中で、新商品情報やユニークな商品・サービスを開発するなど、独自の取り組みで「オンラインワン」を目指す企業をご紹介したり、講演会・懇親会の企画などを発信します。

NTカンパニー株式会社

栄養バランスのとれた家庭の味を届ける配食事業 特許製法を導入し新しい調理法を開発中



健康な食事を介護施設や企業、スポーツクラブなどに配達しているNTカンパニー(株)が、新しい調理法の開発に挑んでいるという。代表取締役の照屋亮さんに、現在の事業と新しい取り組みについて伺った。同社は配食サービスと介護施設運営を展開している。(株)ヘルシーフーズとして2009年に創業し、2019年にグループ会社から独立する形でNTカンパニー(株)に改め、再スタートを切った。「独立時にはグループ会社関連の取引は全て解約したので、大幅な売り上げ減からのスタートでした。さらにコロナ禍の影響でリモートワークになった企業や利用者が減った介護施設との契約が打ち切りになり、1期目は予想以上の赤字になってしまっ。しかし、提供する調理法やメニューのバリエーションを増やし、お客様の「要望にきめ細かく対応することで取引先を拡大し、2期目にはなんとか黒字に転換することができました」。介護食や治療食だけではなく、企業向けや子ども向け、アスリート向けなど、さまざまな方へ目的に合わせた食事を提供している。

「現在では、凍結含浸法という広島県の公設試験研究機関が発明した特許技術を導入し、酵素を利用して食材の形を変えずに歯茎や舌で潰せるほど軟らかくする調理法の開発に取り組んでいます。これまでのミキサー食やキザミ食とは異なり、料理をまろく柔らかくする技術。味や香りだけでなく形や彩りなど、見た目も普通食と同様に楽しめる食事だ。食材ごとのベストな柔らかさを確定するために日々研究を行っている。「高齢者や障害のある子どもなど、流動食を必要とする方々に喜んでいただきたい」と照屋さん。さらに、「晴れの日の食事ではなく、日常的な健康食をより多くの方へ提供したいと考えています。もっと便利にご利用いただけるよう、注文から納品までをオリジナルシステムでデジタル化します」と、年内にはシステムが稼働する予定だ。



左写真はキザミ食(左)と普通食(右)。右写真はソフト食(左)と普通食(右)。ソフト食はミキサーした流動食を固めてゼリー状にしたもの。利用者が飽きないように、色や形など見た目にも工夫を凝らしているという



1日3食製造する、フル稼働の厨房。HACCPに基づく徹底した衛生管理と定期的な一般生菌数検査で、常に食の安全には目を光らせている。また、納品先に冷蔵庫をレンタルで設置するなど、納品後の安全対策にも注意を払っている

「現在では、凍結含浸法という広島県の公設試験研究機関が発明した特許技術を導入し、酵素を利用して食材の形を変えずに歯茎や舌で潰せるほど軟らかくする調理法の開発に取り組んでいます。これまでのミキサー食やキザミ食とは異なり、料理をまろく柔らかくする技術。味や香りだけでなく形や彩りなど、見た目も普通食と同様に楽しめる食事だ。食材ごとのベストな柔らかさを確定するために日々研究を行っている。「高齢者や障害のある子どもなど、流動食を必要とする方々に喜んでいただきたい」と照屋さん。さらに、「晴れの日の食事ではなく、日常的な健康食をより多くの方へ提供したいと考えています。もっと便利にご利用いただけるよう、注文から納品までをオリジナルシステムでデジタル化します」と、年内にはシステムが稼働する予定だ。



代表取締役の照屋亮さんと、取締役の照屋麻衣さん。忙しい時期は夫婦で厨房に立つこともあるという。「疾患を抱えている方の治療食や食事療法だけでなく、病気にならないための毎日の食事が大切」と、健康食としての普及も目指している

NTカンパニー株式会社
那覇市字大道151-2 新地マンション407
☎ 098-963-9612
<https://www.nt-company.okinawa/>



お手軽料金で経営に役立つサービス色々！
公社ネットワーク会員制度

公社ネットワーク会員
<https://okinawa-ric.jp/info/members/>

QRコードを読んで応募 読者プレゼント

アンケートに答えて県産品を当てよう!!

沖縄県酒造組合「琉球泡盛トートバッグ」を 抽選で5名様にプレゼント

沖縄の泡盛酒造所のロゴと「Ryukyu Awamori」の文字入り、沖縄県酒造組合オリジナルトートバッグ。ブラックの地にロゴが映えるデザインがおしゃれです。※デザインは選べません。



もっと泡盛を知る、楽しむポータルサイト
琉球泡盛
<https://okinawa-awamori.or.jp/>



応募締切：2022年6月30日(木)必着

応募方法
QRコードを読み取り、必須項目をご入力の上、ご応募ください。
■ご応募は1回のみとさせていただきます。
■プレゼントの発送をもって発表と代えさせていただきます。
■個人情報はプレゼントの発送のみの情報として使用いたします。



タブロイド判
沖縄ベンチャースタジオ 68号
2022年3月1日発行

TAKE FREE

発行：(公財)沖縄県産業振興公社 ☎ 098-859-6237
<https://okinawa-ric.jp>

編集：光文堂コミュニケーションズ(株) ☎ 098-889-1131

本紙についてのご意見・ご感想、広告掲載に関するお問い合わせは
ovs@okinawa-ric.or.jp まで「情報紙について」の件名を入れて送信して下さい。

※非売品につき有償での譲渡および転売を一切禁じます

海外REPORT

現地のリアクションから見えてくるヒント



from 韓国



沖縄県ソウル事務所
新里 紹太

2021年4月に韓国へ渡り、早くも1年が経過しようとしている。渡韓前は言葉も分からず、さらにコロナ禍で何ができるのかと不安に思うことが多かったが、来てみると意外とどうにかなるもので、今は賑やかなスタッフ3人とともに毎日忙しく仕事をする事が出来ている。

さて、今年3月は韓国大統領選の時期であるが、今回はそれではなく、当事務所で実施した取組について、現地でのリアクションを一部だけでも共有できればと思う。

まず観光PRについては、沖縄のイベント等を題材とした塗り絵カレンダーを製作し、それを抽選景品とするアンケートイベント等を複数回実施した。その中の1つで「沖縄でしたことのある・してみたいプチ贅沢は？」というアンケートを実施したところ、食べ物に関する回答が約半数を占めたが、意外にも「ステーキを食べた」「刺身を食べた」「天ぷらを全種類頼んだ」「果物をお腹いっぱい食べた」など、いわゆるお金のかかる贅沢というより

も、現地でしか味わえないものを楽しめたことに贅沢さを感じている方が多いとわかった。体験に関しても、ダイビングやパラセーリング等のほかに、「満天の星空を見上げて休めたこと」「誰もいないビーチでのひと時」「自然を感じながらの散歩」など、ゆったりとした時間を楽しむことがプチ贅沢だと答える方も一定数いた。我々は県の機関として「1人当たり観光消費額の向上」を目標に掲げて各施策に取り組んでいるが、沖縄の素朴さも大きな魅力の1つであり、バランスの大切さを再認識させられる結果となった。

また、県産品PRでは、酒類博覧会に出展して泡盛の試飲提供を行った。泡盛の特徴である「熟成」に関して説明したうえで、新酒、古酒、10年古酒及び15年古酒の4種類を順に試飲していただいたところ、やはり熟成年数の長い古酒ほど味の評価が高かったが、最も売れたのは手の届きやすい価格かつ適度な熟成年数の「古酒」であった。韓国は酒類輸入時にかかる税金が高く、輸入後の泡盛の小売価格は県内小売価格の3倍以上になる。このため今回はこのような結果になったが、韓国では認知度が高く口コミがあるものは価格が高くても売れる傾向があるので、認知度を高めることができれば、熟成年数の長い古酒も売れるようになり、韓国で急速にシェアを伸ばしている蒸留式焼酎の一部分を代替できる可能性もある。今後、市場に合わせた認知度向上の方法を模索し、実行していきたい。



「沖縄塗り絵カレンダー」のイラスト。那覇ハーリーや大綱引きなど、各月のイベント等をテーマにしている

海外事務所 facebookやってます!

<https://www.facebook.com/okinawa.kaigai.ric>



【お問い合わせ先】海外・ビジネス支援課 担当:仲嶺 ☎ 098-859-6238

